

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。
「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・クールダウンができる部屋の確保で落ち着いて過ごすことができる場所ができています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・子どもの人数に合わせて適切な職員を配置することができている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・特性に応じた支援が行えている。 ・視角支援ツールを使用した環境づくりを行うことができています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・少し狭く感じる日もあるが、おもちゃを片付けたり、遊具や机の配置などを状況に応じて変更することで活動に合わせた空間作りを行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・別室を用意したり、パーテーションなどで区切り、落ち着いて過ごすことができる環境になっている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	・コドモンのアプリを利用することで子どもの様子などは常に職員が把握できる環境になっている。 ・毎月、全体会議と活動会議を行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・評価表に基づき、業務改善を行っている。 ・面談の時に保護者の方の意見を聞き、支援に活かすことができています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・風通しがよく誰もが話しやすい環境になっている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	・実地指導に基づき、業務改善につなげている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・オンライン研修を含め、職員が研修を受けやすい環境が整えられている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・ホームページに支援プログラムを公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・子どもの毎日の様子を支援記録にて共有し、話し合いをし、計画作成をしている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・支援記録や日々の療育の中で話し合いを行い、サービス計画を作成している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・個別支援計画が変更になる時に、全員が内容を把握し、共通の支援を行っている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・個別支援計画に必要な項目を記載し、ねらい及び支援内容も踏まえながら、支援内容を設定することができている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・毎月、会議で話し合いをしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・季節に合わせた活動を取り入れ、毎月違う活動内容になるように工夫をしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・集団活動を主に行いながら、個別の課題などに取り組む時間も作っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・朝礼や職員連絡ノートを使用し、活動内容や子どもたちの様子などを共有し、連携して支援を行うことができている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	・タ礼の時間に振り返りを行い、支援ノートに記入をし、次の日に出勤する短時間パートにも情報共有ができるようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・支援記録を通して、支援の改善につなげている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・支援計画見直しの時期に、モニタリング会議を開催し見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	9	0	・ガイドラインに沿った療育を心がけているが、地域交流に関しては、できていないため、今後検討をしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	9	0	・自己選択・自己決定ができるように支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・児童発達支援管理責任者が参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・必要に応じて、連携をし支援を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	9	・開所してから事例がないため、該当する場合には行っていくように努めている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	9	・今後、必要に応じて機会を設けるようにしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・コドモン・電話・送迎時等、いつでも連絡、相談をすることで共通理解をすることができている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・面談の時に、丁寧に説明をすることができている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・面談の時に支援内容を説明し、同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・必要に応じて電話や面談などを行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	・今年度は保護者同士が交流できる場を設ける予定。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・迅速に聞き取りを行い、話し合いをし改善に努めている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・毎月、活動予定表や通信を配信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・入職時に誓約書を提出してもらい、個人情報の取り扱いには十分注意している。また、重要書類は鍵付きの書庫で保管をしている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・わかりやすい言葉で、端的に伝えるようにしたり、図や文字を用いたりして配慮している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9	・今後できるように検討をしていく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・マニュアル策定はできていて、職員周知はできているが、保護者に周知ができていないので今後コドモンなどで配信をしていく。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・毎月、避難訓練を行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・服薬に関しての同意書と医師からの指示書を記入してもらっている。 ・定期的に発作時の対応についての研修を行っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	9	0	・食物アレルギーの子がいないので、対応は行っていないが、今後アレルギーの子が入所する時には、医師の指示書などの提出をお願いしていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・安全計画を作成し、必要な研修や訓練を行っている。

非常時等の対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	・コードモンで安全計画に基づく取組み内容を配信していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・検討会を定期的に開催し、再発防止対策ができています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・事業所内の研修を定期的に行ったり、外部の研修にも積極的に参加をしている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・定期的に研修を行って、身体拘束についての知識を共有し、保護者の方々にも身体拘束の指針を説明している。